

新作

「雪ノ精」

第二回白河能

東日本大震災鎮魂復興

月にと返す

景色かな



能のおはなし

連吟「遊行柳」

説法

新作「雪ノ精」

2019 **10/17**(木)

午後2時開演(開場午後1時30分)
白河文化交流館コミネス大ホール

全席自由 一般：3,500円(税別) U29：2,000円(税別)

※U29は29歳以下が対象です。当日、受付にて年齢確認できるものをご提示ください。
チケット発売日/8月15日(木)

プレイガイド

電話予約/白河能 相模原市南区相模大野2-17-7
電話：042-748-2822

窓口/白河文化交流館コミネス(火曜休館を除く9:00-20:00)
電話：0248-23-5300 ※8/26(月)は点検休館日となります。

主催者問合せ 白河能

【解説】

涵養の川に棲む狸々が月夜に現れ酒の徳を語って夢想舞う。

仕舞「猩々」

わが子を人買いにさらわれた母親が京の都から東国の隅田川辺りまで子供を探し歩く。

仕舞「隅田川」

東遊びの数々を舞いながら、大空の霞にまぎれて遙か天空へ舞い上がって行く。

仕舞「羽衣」

連吟「遊行柳」

白河市にまつわる曲。白河の関に古木の柳がある。西行法師が「みちのべに清水流るる柳かげ、しばしとてこそ立ちとまりつれ」と詠じた木です。その柳の精が白髪の老人となり現れる。遊行上人の念仏のお陰で成仏した事を喜び、報酬の謡い、舞い、姿は消える。後にはただ朽木の柳だけが残る。



松山隆之
能楽師



松山隆雄
重要無形文化財保持者(総合認定)



梅若実
人間国宝、芸術院会員

11 終了予定午後4時 11

ナレーション
伶以野陽子

後見
松山 隆之

大鼓
佃 良太郎

小鼓
田邊 恭資

笛
一噌 幸弘

二胡
王 霄峰

シテ
松山 隆雄

新作「雪ノ精」

説法
白河仏教会

連吟「遊行柳」
鷹尾 章弘

鷹尾 章弘

梅若 実

松山 隆雄

志賀野桂一

鈴木 和夫

能のおはなし
松山 隆雄

ごあいさつ
白河市長 鈴木 和夫

新作「雪ノ精」

原作・音楽・振り付け
松山隆雄

月 光々として

雪 白し

冷々として 静かなり

風もなく 静かな夜

月に見ゆ 雪ノ精

月の光にさそわれ

静かに舞い出す

月にたわむれ

ひるがえす衣

情念は炎のように

燃えあがり

舞

月 西に入り

東の空は

しらしらと明け

心 残しつつ

雪ノ精の姿は うすれ

霧中に

雪はとけ

水となる 水となる



能楽ワークショップ 参加無料

能を知る為に...すり足体験してみませんか

日にち: 9/26(木) 時間: 13:00~14:30

会場: 白河中央公民館 第1講習室(白河市天神町2番地)

講師: 松山隆雄(公益財団法人梅若実(重要無形文化財保持者(総合認定)「能楽普及推進会」主宰)

申込み 参加希望の方は下記までお申込みください。

お問合せ: 白河能(黒須) 電話/0248-23-2660(くろす家具店)



国・重要無形文化財保持者(総合認定)
能楽普及推進会主宰
松山 隆雄



白河市長
白河能名誉顧問
鈴木 和夫

「白河能」が主催する新作「雪ノ精」にあたり、「一言、ご挨拶を申し上げます。」
この度は、本市の復興のシンボルであり、文化・芸術の活動・発信拠点である白河文化交流館コミネスに、人間国宝である梅若実様をお迎えできたこと、また東日本大震災の鎮魂と復興を祈念した「演能会」を開催できましたことを、大変感慨深く思っております。
こうした質の高い舞台芸術に触れる機会を増やしていくことが、品格と魅力ある地域づくりに繋がるものと考えておりますので、是非、多くの方に「コミネス」へ足を運んでいただき、良質な文化・芸術を肌で感じて欲しいと思います。

第一回白河能が昭和四十年に開催され五十五年がたち、ここに第二回白河能が催されます事、心より喜んでおります。梅若実師にご出演いただきます。
また東日本大震災鎮魂復興とし、私が創作いたしました新作「雪ノ精」を、中国の二胡と共に静かに演じさせていただきます。五十五年の歳月は私の舞台生活とびつたり重なります。不思議な事ですね。

主催: 白河能 共催: 白河文化交流館コミネス
後援: 白河市、白河市教育委員会、白河文化団体連合会、白河仏教会、福島民報社、福島民友新聞社
協力: 白河謡曲会、能楽普及推進会、玄豆屋